【様式１】平成２７年度　県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	世羅町	学校名	世羅町立甲山中学校
校長名	只野　善信	電話番号	（０８４７）２２－００３７
分野・領域	□人材育成　■学力・学習意欲　□生徒指導　□キャリア教育 ■学校・家庭・地域の連携・協力 □学校経営　□服務研修　□教育研究　□進路指導　□食育 □教育課程　□体力つくり　□情報教育　□伝統文化　□情報発信 □危機管理 □その他（　　）		
研究主題	生徒の能力を引き出し，自信を育む教育活度の創造		
当該ページのアドレス	http://www.edu.town.sera.hiroshima.jp/kouzan-jhs/		
研究内容	生徒の実態を分析し，課題がどこにあるかを把握することで，その課題克服及び生徒の意欲を高める指導を行うという，アクションリサーチによる授業改善に取り組む。 また，体験活動と道徳教育との関連を図りながら，家庭・地域からしっかり関わり，声を掛けてもらうことで，自信を持たせ自己肯定感を高める生徒を育てるように取り組んでいく。		
備考			

【様式１】平成２７年度　県中校長会 Web ページ版教育便覧

<table>
<tr><td>市町名</td><td>世羅町</td><td>学校名</td><td>世羅町立世羅中学校</td></tr>
<tr><td>校長名</td><td>内田　政彰</td><td>電話番号</td><td>0847-22-2323</td></tr>
<tr><td>分野・領域</td><td colspan="3">□人材育成　■学力・学習意欲　□生徒指導　□キャリア教育
□学校・家庭・地域の連携・協力
□学校経営　□服務研修　■教育研究　□進路指導　□食育
□教育課程　□体力つくり　□情報教育　□伝統文化　□情報発信
□危機管理
□その他（　　）</td></tr>
<tr><td>研究主題</td><td colspan="3">主体的に課題を発見し追求する生徒の育成
～　学びを深める協同学習を通して　～</td></tr>
<tr><td>当該ページのアドレス</td><td colspan="3">http://www.edu.town.sera.hiroshima.jp/sera-jhs/index.htm</td></tr>
<tr><td>研究内容</td><td colspan="3">＜研究仮説＞
知的好奇心をゆさぶる学習テーマを設定し，考え方や伝え方を習得させ，学びを深める協同学習を取り入れれば，生徒は主体的に課題を発見・追求していくようになるであろう。

＜今年度の重点取組＞
①　単元構成の工夫
○課題発見・解決学習を取り入れた単元の工夫
○知的好奇心をゆさぶるような学習テーマの工夫

②　協同学習
○ペアや３～４人グループ，生活班をつかった小集団学習
○集団思考を通じて，生徒の考えの質が高まる授業
・目的の明確化（広げる・深める・まとめる）
・指示の明確化（何のために，何を，何分話し合う，司会の進め方等）

③　書く活動
○全教科において，まとめ・ふり返りの記入</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

【様式１】平成２７年度　県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	世羅町	学校名	世羅西中学校
校長名	信廣正夫	電話番号	０８４７－３７－１１２２
分野・領域	□人材育成　☑学力・学習意欲　□生徒指導　□キャリア教育 □学校・家庭・地域の連携・協力 □学校経営　□服務研修　□教育研究　□進路指導　□食育 □教育課程　□体力つくり　☑情報教育　□伝統文化　□情報発信 □危機管理 □その他（　　）		
研究主題	基礎学力をつけ生きる力を育む ～共創的な対話活動や表現活動を充実させ、論理力の向上を図る～		
当該ページのアドレス	www.edu.town.sera.hiroshima.jp/seranishi-jhs/		
研究内容	１　共創的な対話活動の充実 本校の研究サブテーマの「共創的な対話活動」とは、深く考え、対話や練り合いの中で、共に学び合い、新たな価値を創り出していく活動である。深く考えるためには，自分の考えと比べる聴き方をすることが大切なので、「共創的な対話活動」を行うことで、学び方がわかり、学び続けることができる生徒を育てていきたいと考える。 共創的な対話活動を充実させ，「学びの変革」を進めるために、次の５点に取り組む。 (1)「分からない」と安心して言える学級づくりを行う。 (2) 主体的に取り組める単元構成や学習過程の工夫により，「どうして？」「知りたい。」「できそう…」という気にさせる。 (3) 教師が教えることと、生徒に考えさせること，体験させることを整理する。 (4) 学びの基本の流れは… ①自分の考えを持つ→②話し合いの中で気づく，学ぶ→ ③それを交流する→④自分の考えを深める書く活動などを行う となる。 (5) 振り返りを重視する。 ２　学力向上につながる ＩＣＴの有効活用 昨年までの２年間，パナソニックの特別研究指定校の研究助成を受けており，さらに昨年度から，県より「市町の挑戦支援加配」事業を受け，研究を進めている。 また、今年度は、世羅町の ICT の拠点校の指定をいただき、5 月に 2 回、町内の小中学校に呼びかけ、ICT 活用の研修を行っている。世羅町より最新のタブレットを入れていただき、どの教室でもタブレットでインターネットが使える環境も整備した。		
備考			